

の渡邊直行君外 6名に對し服部賞金を贈呈いたすものであります、推薦理由書は是亦御手許に配布したる印刷物に詳しく記載いたしてありますから御覽を願ふこととし、今其功績の大要のみを申述べますと、賞牌受領者山岡武君は八幡製鐵所の洞岡製銑工場の 500 磅及 700 磅熔鐵爐の設計並操業に對して功績顯著なるものでありまして、是は服部博士記念資金取扱規則第七條に該當するものであります、次に賞金受領者渡邊直行君の防彈鋼に關する研究は軍用鋼材の進歩發達上貢獻する所多大なるものであります、又賞金受領者加藤孝治君は製鐵鋼作業上重要な材料たる各種耐火煉瓦の製造技術の進歩發達に多大の貢獻あるものであります、又中村道方君は電氣製鋼、特に鑄鋼、鍛鋼の技術上の進歩發達に對する貢獻多大なるに依るものであります、又永澤清君は鋼の焼戻に關する各種の性能中、特に焼戻脆性に付ての研究が其發生機構の理論を鮮明ならしむるに多大の貢獻あるものに依るのであります。寺門茂君は多年の陸軍兵器用諸地金の研究が其進歩發達に多大の貢獻あるものであります。次に齋藤新一君は電氣爐實地作業上の進歩發達に多年の貢獻あるによるものであります。次に砂澤彌平君は鍛接鋼管用材たる「スケルプ」の製作自給に對して多大の貢獻あるものであります。以上 7名の賞金受領者は何れも服部博士記念資金取扱規則第八條に該當するものであります。尚ほ以上の賞牌並に賞金受領者に對しましては何れも規則に依り、服部博士記念資金委員會に於て慎重審議の結果、多數の候補者中より選出決定したものでありまして、茲に各位の平素の御

苦心と御盡力に對し深厚なる敬意と祝意とを表し、尚ほ將來に於ても斯界の爲に一段の御盡力あらむことを切望する次第であります。簡單ながら以上を以て祝辭に代へまして、之れから贈呈式を行ひたいと思ひます。

此時石原贈呈式委員立ちて音聲朗かに次の各氏を讀上げられ會長自ら壯嚴に贈呈されたり。

服部賞牌受領者 山 岡 武君

服部賞金受領者 (いろは順)

渡 邊 直 行君	同	加 藤 孝 治君
同 中 村 道 方君	同	永 澤 清 君
同 寺 門 茂君	同	齋 藤 新 一君
同 砂 澤 彌 平君		

受領の都度満場拍手を以て祝意表せり。

○會長(河村曉君) それでは之で總會全部を終了いたしました、序でながら申上げて置きますが、香村賞牌の第三回受領者に付きましては、候補者に對しまして種々協議を重ねましたのでありますが、まだ審議未了でありまして、本日贈呈式を行ふ運びに至らなかつたことは誠に遺憾とする所でありまして、是は何れ適當なる機會に於て贈呈式を舉行することを期待いたして居る次第でございます、ちよつと附加へて置きます。(拍手起る)(午後零時五分閉會)

日本鐵鋼協會第12回講演大會狀況報告

本會創立第 19 回通常總會開會を機會とし第 12 會講演大會並第 10 回研究部會を開會し豫想以上の盛況を呈したり其の概況を此に報告せんとす。

計劃及準備、實行委員例に依り本部所在地に於て開催の場合は會長を委員長とし理事、前會長並に編輯委員にて夫々任務分擔に就く、

日本鐵鋼協會第 10 回研究部會

4 月 2 日(月曜日) 午前 9 時 30 分 開會

會場 東京市麴町區丸ノ内三丁目四番地 帝國鐵道協會三階講堂

出席者 各工場及本會推薦委員並に本會役員等にして其計 58 名

外傍聽者數名

議題 第 6 回研究部會 電氣製鋼爐の操業並に構造に付き改善すべき點如何、II (昨年の繼續)

準備實行擔當者 吉川博士外編輯委員一同

配布の參考書類 (1) 日本鐵鋼協會第九回研究部會、第 5 回製鋼部會、電氣製鋼爐に關する議事録 (2) 第 10 回研究部會討議項目順序に對する回答により訂正又は追加表 (3) 委員出缺名簿 以上 3 種

研究部會開會の挨拶

日本鐵鋼協會々長 工學博士 河 村 曉 君

之から本會第 10 回研究部會第 6 回製鋼部會第 2 回電氣製鋼部會を開催し昨秋に引續き「電氣製鋼爐の操業並に構造に就き改善す可き點如何」なる議題を以て討議を始めたいと思ひます、最近電氣製鋼爐は時局の關係上益々其重要性を發揮するに至り昨秋名古屋に於て研究部會開催後に於ても漸次電氣爐の新設並に擴張が次から次へと續出して益々盛況に赴きつゝある模様伺ひますことは誠に邦家斯

界の爲め慶賀の至りであります、昨秋は午前中講演を御願致し午後は概括的に討議を行つたのでありますが研究項目も多數に上つて居りますので今回は講演を行はず午前午後に入り討議を致すことになりました、何卒一層細に入り微に入り緩々御討議あらんことを希望致します。

次に委員長の選舉であります但し前會の引續きでありますので川崎舎博士に御願ひ致したる處同君は時節柄非常

に多忙であり且つ遠隔の地に居らる爲めに準備に不便であるとの理由に依り御辭退致されましたので乍僭越私より吉

川博士に御願致し種々準備して頂いた次第であります、此段御承認を願ひまして選舉を略したいと思ひます。(拍手)

閉 會 の 挨拶

日本鐵鋼協會々長 工學博士 河 村 驍 君

長時間に亘り有益なる研究討議が行はれまして將來電氣爐の設計並に操業上有益なる參考資料を得ましたことは本會の欣幸とする處でありまして熱心に御盡力下さいました處の委員長始め委員御一同に對し厚く感謝の意を表します殊 兎角討議と云ふことは稍々もすれば角が立つものであります但し誠心的に和氣霽々たる光景を呈しましたことは喜びに堪えぬ處であります、之にて一先電氣製鋼の研究部會を終了すること、致しますが尙今後の電氣爐の進歩の狀況と其成行とを見まして必要ある場合は更に第3回を開くことに致したいと思ひます、尙今年の秋の大會は滿洲で

開くことになつて居りますので滿洲側の準備委員の希望出席者の數等も參酌して研究題目に就きまして理事會に於て評議の上決定することに致します。尙又今回の研究討議の記録は例に依りまして何れ取纏めて印刷前に御回覽に供し訂正して頂くことになると思ひます、何卒宜敷御盡力の程を御願致します、最後に今日特に多大の御盡力を煩はしたる吉川博士に對し御一同と共に拍手を以て感謝の意を表したいと思ひます。(一同拍手)では之にて本日の研究部會を閉會致します。(拍手起る)

講演大會の部

4月3日(火曜日祭日) 午前9時開會
會場 東京市麴町區丸の内三丁目四番地 帝國鐵道協會々館第一部講演二階、第二部講演三階講堂に於て

本會の大會は回を重ねること十二回毎々有爲の講演數又出席者數の増加する事夥しく今回は一日間の開催にも不拘講演數 20 以上出席申込者亦 402 名と之亦以來の最高記録を示せるは會員諸君の熱心の賜にして同時に周圍が本會に負ふ處多大を來したる所以にして本會の幸慶之れに勝ず茲に最も深厚に同慶の意を表する次第なり。

先づ定刻前より會員參集し開扉を待ち受付にて參考書類(1)出席者名簿、(2)昭和8年度本會々務報告會計報告、(3)服部賞受領者推薦理由書、(4)見學案内書等を受取り各々希望の部に入り着席するや定刻の振鈴と同時に第一部に於ては依博士開會を宣し直ちに講演孤光式電氣爐鋼の窒素並にカーバイドスラッグの脱酸性に就て、吳海軍工廠製鋼部員工學士早矢仕功君を紹介し司會者席に着席、第二部にては水谷博士開會を宣し講演 特殊鋼材の疲勞破壊並に衝擊破壊に於ける「切込み」の影響に就て、日本特殊鋼會社技師玉置正一君を紹介し司會者席に着席す、之を初めとしてプログラムを辿り午前10時25分に至り一、二部共二階講堂に合集し司會者交代河村會長司會の下に八幡製鐵所技師工學士吉川平喜君 平爐作業能率増進の一考察に就て 講演し了つて午前11時15分より本會第19回通常總會(總會記事參照)に移り總會終了後晝食となる。

午後1時講演午後の部開演の振鈴鳴り各々各部室に着席するや第一部室は朝倉博士、松下理事、吉川博士、服部博士、第二部室は石原博士、野田博士、渡邊理事司會の下に夫々プログラムの通り遺洩なく演了し盡し司會者の閉會の辭ありて盛況裡講演會終了す。

以上司會の勞を執られたる各位並に有益なる講演提供者及8時間の長き間熱心に清聴されたる會員諸君へ深甚の謝意を表す。

晩 餐 會 午後6時30分

場所 帝國鐵道協會々館二階食堂に於て

出席者 來賓 追濱航空隊司令 海軍少將 大西次郎閣下
横須賀鎮守府軍事普及部主任 海軍大佐 古田中博君
服部賞受領者 山岡武君 渡邊直行君 加藤孝治君
永澤清君 齋藤新一君

講演者(イロハ順)

今井弘君	早矢仕功君	橋本宇一君
日司一司君	岡田俊一君	吉川平喜君
大谷口光平君	玉置正一君	武田循三君
内藤逸策君	黒河内敏君	日下和治君
藤原唯義君	三浦三索君	宮下格之助君
城員正俊君		
野田鶴雄君	水谷叔彦君	渡邊三郎君
吉川晴十君	松下長久君	今泉嘉一君
香村小録君	俵國一君	河村曉君
服部漸君	石原寅次郎君	井上禮之助君
岩瀬德藏君	戸村理順君	川上義弘君
金齋恭輔君	齋藤大輔君	朝倉希一君
石原善雄君	今井文平君	池田正二君
伊澤吉君	花岡元吉君	石川等君
太田啓三郎君	小田原大造君	ハ・ゴージェンス君
加藤右衛門君	藤内健三君	桂辨三君
竹上敬次君	中村幸雄君	田中雅夫君
村上竹藏君	梅津七藏君	山田良之助君
山田泰作君	藪内周三郎君	福留富治君
小林運重君	小林子之輔君	黃金井晴正君
高田壯吉君	小森富作君	寺島錦一君
淺田長平君	澤村宏君	三島德七君
宮口竹雄君	綠川五六君	鹽澤正一君
志村繁隆君	東仙太郎君	鈴木和志理君

定刻の振鈴を會圖に遠近相寄り一堂に會し歡談盡きザテザートコースに入り河村前會長立つて一場の挨拶に次ぎ例に依り卓上演説あり其の速記次の如し。

○河村會長 ちよつと簡単に御挨拶申し上げます、本會の第19回總會、第12回講演大會に當りまして、本會懇親會を兼ね、明日から見學をさして戴きます所の主な方々を御招待申し上げました所、雨天の際又御多用中の所をお繰合せ下さいまして御臨席を得ましたことは本會の光榮とする所であります、尙ほ今日は大變會員の御出席が多うございまして、盛大なる晩餐會を開くことを得ましたことは誠に欣幸に堪へない所でございまして、又本日の招待者の中の服部博士記念賞の受賞者に對しましては、日頃各位の從